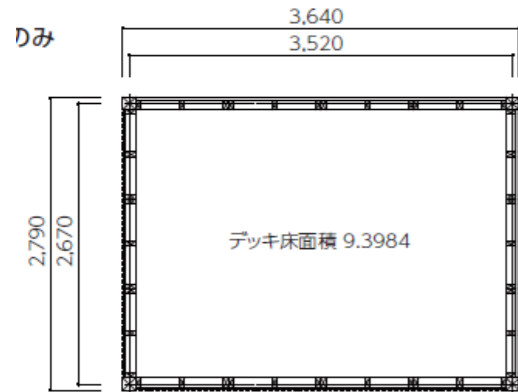
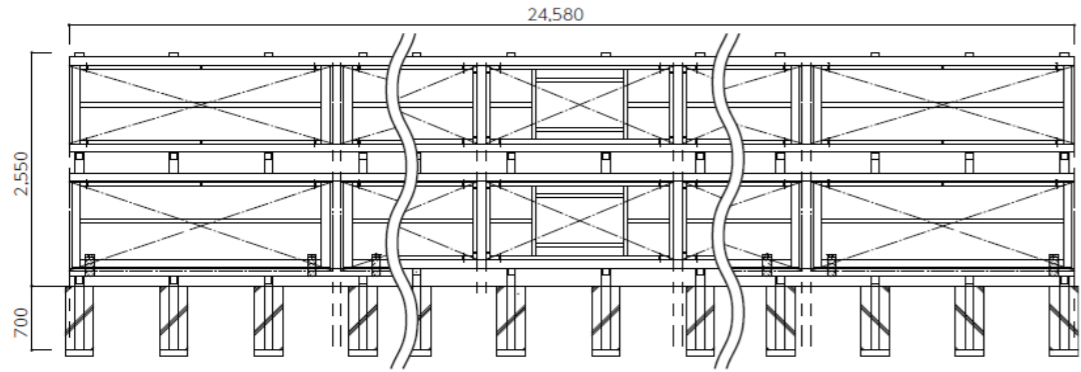


図面や絵などを用いて、平時・災害時にそれぞれ想定される用途や設置場所、トランスフォームの手順、トランスフォームにあたって必要な工具がある場合はその格納場所についてご説明ください。

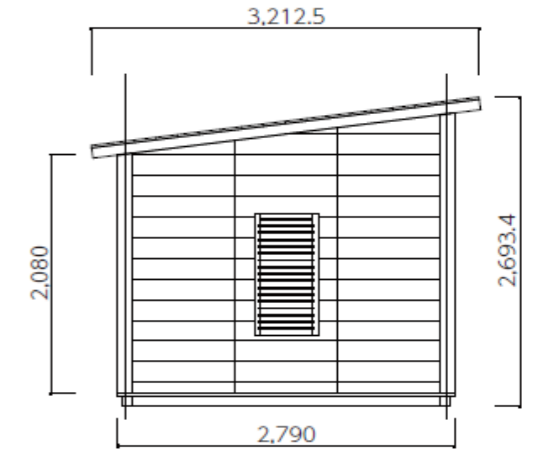
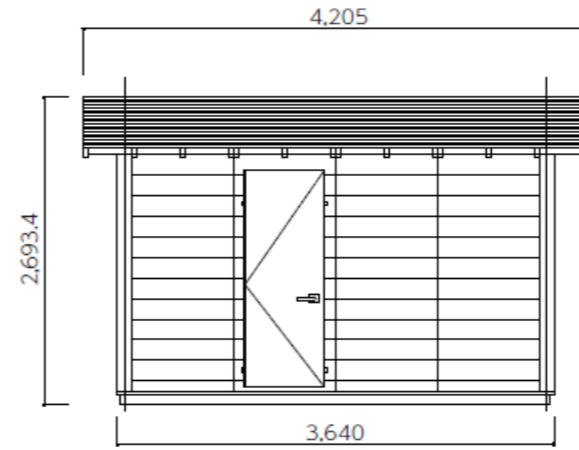
応募作品名	木造応急仮設ハウス	氏名	木青 太郎	応募チーム名	
-------	-----------	----	-------	--------	--

☆平時利用



設置場所：屋外の公園や広場など
 用途：ウッドデッキ、ウッドフェンスとして心地よい木質空間を提供します。
 その他：変形に必要な工具や金物は、すべてデッキ下に格納されています。

☆災害時利用

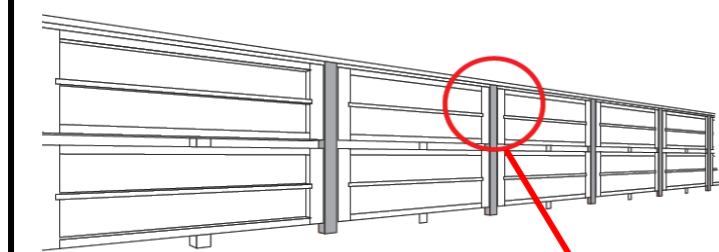


設置場所：避難所（屋内もしくは屋外）
 用途：不特定多数の人々が避難所生活する中で、着替えなどプライバシーを保つための場として利用したり、支援物資の保管、急病者の緊急措置、要介護者や感染症等の恐れのある方のための避難場所として利用できます。
 特長：全ての壁パネルの寸法を統一しているため、入り口ドア、通気ガラの配置や屋根勾配の向きを現地の条件に合わせて自由に組み替えることができます。

☆変形方法

「壁から小屋へ」解体からの組み立て手順

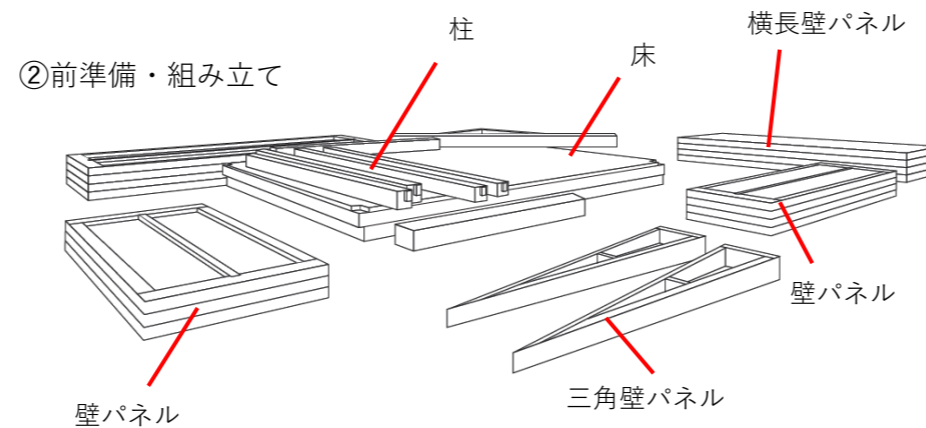
① 普段のフェンスを解体



普段、フェンスの各パーツはボルトで固定されており、ラチェットでボルトを緩め外すことで、解体することができます。

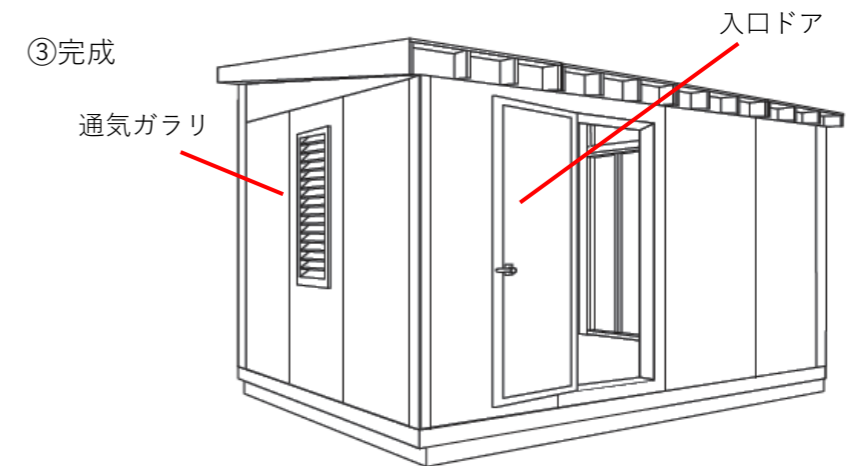
(拡大図)

② 前準備・組み立て



取り外したたら、各パーツごとに分けて置いておく。
 まず柱4本をデッキの角に取り付け、パネルを順に取り付けていく。

③ 完成



パネルのズレを微調整し、完成。

☆変形作業の注意事項

- ・デッキが水平に保たれているか、ガタつきが無い確認してください。
- ・作業の際は、格納されている手袋とヘルメットを使用してください。
- ・風の強い日は危険ですので、変形作業は避けてください。
- ・組み立て後はルーフィング等で防水工事をするをお勧めします。

(事務局記入欄)

受付番号	受付日時
------	------